

テレビのニュースや新聞などで毎日のように高齢者の問題が取り上げられています。

私には九十八歳のひいおばあちゃんと七十二歳の祖母、七十五歳と七十四歳の祖父がいます。

四人のお年寄りが身近にいますが、私のような人は、日本中に沢山いるのではないのでしょうか。

生まれてくる子どもの数は減る一方で、どんどんお年寄りが増えていくのです。

年をとるということはどういうことか。

私はまだ十三歳なので想像がつきません。

でも、私の祖父、祖母の姿からわかることは、体が弱くなり、病気が出てきて通院をしたり、私達のペースに合わせるのが大変になってきたりと言うことです。

ニュースなどで、一人暮らしのお年寄りが誰にも気がつかれないまま、何年も月日がたち、亡くなっています。

とても悲しい気持ちになります。

家族がいらない人なのか、一人で暮らすというのは、体が弱くなって、動けないお年寄りにはきつくて大変でしょう。

私の祖父と祖母は、一緒に九十八歳のひいおばあちゃんの面倒をみています。

老人ホームのデイサービスに週に二回通いお風呂に入れてもらったり、自分の身の回りのことは、ある程度一人でできるのでがんばっています。

私は、このひいおばあちゃんのことを尊敬しています。

面倒をみている祖父と祖母のことも、もちろん大好きですが、ひいおばあちゃんの動きはとても百歳に近い人とは思えないのです。

毎日、新聞を二社とスポーツ新聞に目を通し、簡単な手芸をしたり、広告用紙でゴミ入れ用の箱を折ったり、指先を使ったことを進んでやっています。

そして、驚くことに全然ボケていません。

しっかりと私や弟のことともわかり、学校での出来事を聞いてきたり、やさしい言葉をかけてくれます。

私が中学に入学したことを喜び、自分が、女学校の時に歌っていた校歌を大きな声で歌って聞かせてくれました。

八十年以上も前のことなのにすごいと思いました。弟ともやわらかいボールを使ってキャッチボールをしてみたり、私のひいおばあちゃんにはスーパー元気おばあちゃんです。

私の家は、家族でひいおばあちゃんを大切にしています。二

ユースに取り上げられてお年寄りの人たちは、誰にも知られず、孤独に何十年も過ごしてきているのです。

このようなお年寄りが安心して過ごせるような、施設や住める所を、国で援助してあげたり、助けてあげたりすることができればいいのではありません。また、家族の人もお年寄りとの関わり方を勉強しお互いに、楽しく過ごせるようにしなければいけないと思います。

最近ニュースでよく耳にしますが、年金をもらうために死亡届を出さないで、何十年も年金をもらって暮らしている家族が日本中でたくさん出てきました。

私はそういう家族の人たちの神経を疑ってしまいます。国や市町村の公共機関の人たちは気がつかないのでしょ

か。これからもどんどんお年寄りが増えていきます。

私たちが大人になるころには、もっともっと大変な問題になっているかもしれない。

私は、これから大人になり、両親は年をとっていきます。祖父や祖母はもっと年をとります。私や弟が面倒を見てあげなければなりません。

そのころには、お年寄りの人たちが安心して過ごせるような環境になつていくか本当に心配です。

今、私ができることは、ひいおばあちゃんや両親の祖父母、四人を大切にし、両親が祖母たちにしてあげていることを一緒に手

伝いみんなと仲よく暮らすことです。

みんなが幸せに暮らせるようになることが私の願いです。